



石濱 阿里紗
「クロネコの時間」4号



岩本 将弥
「白絹の花」6号



植野 綾
「オブラート」6号



宇田川 格
「sangria」8号



大路 誠
「静寂の中で」6号
(制作途中)



納 義純
「追憶」7号変



亀山 裕昭
「曙光」
22×54.6cm



久保 尚子
「翡翠蘭」4号



佐藤 陽也
「夜の国」10号



津絵 太陽
「酔芙蓉」4号



友清 大介
「入江の風」6号



西浦 慎吾
「orange」6号



白田 彩乃
「アンプのある静物」10号



原 太一
「昼下がりのラジオ」8号
(制作途中)



松本 実桜
「同胞[はらから]」8号



丸山 一夫
「黒い静物」6号



柳田 也寿志
「散歩道」6号



吉間 春樹
「rest」6号



えいえいこうろく
英英紅緑

第47回

大正十三年創立



白日会

会員選抜展

会期 / 2022年12月21日(水)~26日(月) <最終日午後5時終了>

会場 / 日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊

ごあいさつ

おかげさまで、「英英紅緑」白日会会員選抜展も47回展を迎えることができました。長年にわたって会場を提供して下さる三越本店をはじめ、応援をしてくださった関係各位に心より感謝の意を表します。白日会は、写実の王道を歩む作家集団として、100周年展に向け会を挙げていっそう精進してまいります。今後とも、皆様の厳しい御指導と御鞭撻をお願いする次第でございます。

2022年12月 白日会会長 中山忠彦

【白日会】

1923年(大正12年)欧州からの帰途の船上で中沢弘光と川島理一郎が出会い、当時の混迷にあえぐ洋画壇を憂い、「友人同士を誘って相互研鑽の場とすべき正当な美術研究団体を結成しよう」と約束し、インド洋上で仰いだ白日に輝く太陽のように力強くとを思いを込めて、1924年(大正13年)1月「白日会」が結成されました。本会は結成されて以来、一貫して写実を標榜し続けてきた歴史ある団体です。日ごと研鑽に励み、作家それぞれに「見えるものを通して見えないものを描くこと」としての「写実」を追求し続けています。

【英英紅緑】

英英は、相和して盛んなこと。英は花々でもあり、紅は自然の色です。花は紅、柳は緑。白日会の人たちが相和して色彩とりどりに燃えてあればいい…との願いです。



山本 眞輔
「黎明の祈りーいのち育む光ー」
H70×W26×D22cm



斎藤 秀夫
「薔薇」6号



峯田 義郎
「続く旅」
H12×W21×D10cm



MITSUKOSHI
日本橋本店
www.mitsukoshi.co.jp